



令和5年度 車座集会 意見交換内容

日時	令和5年10月11日(水)14時から
場所	吉井地区コミュニティセンター 講座室
テーマ	吉井地区のまちづくり (1)旧吉井行政センター付近の渋滞緩和などについて (2)福井洞窟の特別史跡国宝指定について (3)イチゴ、メロン等 特産品のブランド化推進
出席者	地域参加者9名、市議会議員2名、市長ほか関係者5名 合計16名

佐世保市 市民生活部
コミュニティ・協働推進課

令和5年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:吉井地区のまちづくり

(1)旧吉井行政センター付近の渋滞緩和などについて

地域参加者

- 地域は、現吉井バス停を残したまま吉井地区コミセンへバス停の増設が望ましいと考えている。吉井バス停での乗降時間が短縮され、若干の渋滞緩和に繋がるのでは。
- 旧吉井支所跡地を利用したバスレーン設置は難しいとの結論が出たが、ガードパイプや旧支所前の植え込みを撤去してインターロッキングからの乗り入れを可能にし、1～1.5m左に寄せてバスが停車できる様にできないかということについてバス会社へ提案した。
- 吉井地区コミセンにバス停ができればバス停へのトイレ設置要望も、解決すると思う。
- バス事業者とのルート変更の協議も含め、バス停増設をお願いしたい。実現して、複合施設が新たなランドマークとなることを期待している
- 商工会で活動する際など駐車場の確保に苦慮している。コミセン前にバス停ができれば今よりもっと駐車場の問題がでてくるのではと感じているので、バス停増設にあたっては対応を考える必要があると思う。
- 吉井バス停まで送迎をされている高校生の保護者が、駐車場所がなく困られているため、コミセン前にバス停ができれば車の流れがスムーズになるのではと考えている。
- コミセンにバス停ができると、今後吉井南小・北小が合併した場合においても利便性が向上しそうだと思う。学校再編にも関わる問題となるので、ぜひ住民が利用しやすい形を考えていただきたい。



令和5年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:吉井地区のまちづくり

(1)旧吉井行政センター付近の渋滞緩和などについて

市長

- 複合施設が地域のランドマークとなると考えているので、バス事業者との交渉も含め前向きに検討していきたい。
- 旧支所前の渋滞緩和については、市道前岳線の改良が必要になる。前向きに検討したい。江迎方面から入る国道204号の右折帯設置については県との協議が必要。こちらも併せて考えていきたい。
- バスルートの変更は、運転士不足など厳しい状況の中で距離が長くなるなどの懸念事項もあるがバス停の増設と併せてバス事業者と協議をし、旧吉井支所周辺の利便性も含め、改良ができるよう頑張っていきたい。

土木部長

- 駐車場については考えていく必要があるかと感じている。今後関係部局と協議をしながら進めさせていきたい。
- 道路の改良については改めて県と協議を進めていく。バス路線については、バス事業者、道路管理者で協議をすすめたい。



2023.10.11 吉井地区

令和5年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:吉井地区のまちづくり
(2)福井洞窟の特別史跡国宝指定について

地域参加者

【吉井地区の名産などを使ったまちづくり】

- 地域の文化財、特産品をマッチングさせながら、地域の方向性を作っていきたい。福井洞窟が特別史跡になったら、地域の知名度も上がる。複合施設を中心として、よしい荘の空き室を利用して吉井の名産物を販売できるような方法も考えていく必要があると思う。
- イチゴ、メロン、柚子胡椒等を特産品として、史跡と併せて売り出していくという方向性も考えている。
- レストランやお土産がないため、特産品や史跡にちなんだクッキー、キーホルダー、史跡のキャラクターコラボ商品、写真展示等を提案したい。雇用の確保にも繋がるのでは。吉井北小跡地の利活用も考える必要があると思う。
- 吉井町には佐世保バーガーを販売している場所がない。福井洞窟のラベルを使った佐世保バーガーなどができたらいいなと思う



2023.10.11 吉井地区

- 吉井地区は、石橋群、ポットホール公園、桜など四季折々の見所があり、子ども連れで1日遊べる場所もある。遊休施設や利活用可能な土地利用も併せたプランを考えていく必要があると思う。
- ソレイユ吉井がもっと活性化するようにできないかと感じる。行政とも協議を重ねて地域が一体感を持って盛り上げていきたい

令和5年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:吉井地区のまちづくり

(2)福井洞窟の特別史跡国宝指定について

地域参加者

【観光案内、施設の整備など】

- 福井洞窟にいられた方から、ミュージアムへの行き方を尋ねられることがあるが複雑で説明が難しい。観光案内用に目印を記載した地図があると良いと思う。
- 福井洞窟、直谷城、おはし観音、石橋群など吉井の見どころをまとめて案内できるような看板が設置されれば、観光にいられた方も見物しやすく吉井の発展に繋がるのでは。
- 福井洞窟ミュージアム内には2万年前の様子が再現されたコーナーがあるが、現地へ行っても川を雑木が覆っていて見えない。雑木を払って岩盤が見えるよう整備してはどうか。
- 福井洞窟ミュージアムに来る団体のお客さんが食事できる場所がない。よしい荘の広いスペースを利用するなどしてバスでいられた団体客に食事を提供できるような場所が欲しい。
- 福井洞窟のトイレは、湿度が高く床が水浸しになっていたり、便座が冷たく、湿気によりペーパーが劣化したりする。手洗い場には鏡がついていないため設置して欲しい。特に観光客の方にとってトイレは大事だと思う。



令和5年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:吉井地区のまちづくり

(2)福井洞窟の特別史跡国宝指定について

市長

- 県管理の河川においては、予算の関係もあり頻繁に伐採をできないということが実情としてあると聞いているが、万が一災害につながってはいけないので地域の声を注視しながら県と連携しながらやっていく必要がある。
- 福井洞窟については、今後特別史跡に認定されれば、吉井だけでなく長崎県を代表する史跡になることは間違いない。福井洞窟を中心としたまちづくりに向けて市も頑張っていきたい。この複合施設がランドマークとして観光の中心になるよう強く願っている。
- 佐世保市は観光都市であると標榜している一方で、観光客に対して、もっときめ細やかなおもてなしの心を育てていくべきだとも感じる。観光客の不便や分かりにくいといった声を看板やガイドブック等に繋げていく必要がある。
- ひとつの観光資源にいかに付加価値をつけていくかが重要であり、それを内外に発信し、たくさんの方に来ていただけるというのが観光のひとつの本質であると考えている。そのためにはお土産も重要な要素であり、良いものを作っていくことが必要であると考えている。
- 国際クルーズ船の入港が復活し佐世保の港にも船が入ってきている。今までは免税店での買い物などが一つの大きな楽しみだったが、現在は見て楽しむこと、体験することに力点が変わってきているように思う。例えば佐世保の酒蔵を海外からのお客さんに紹介し、実際に来てもらうという拠点づくりをやっていくことで国内外から観光客を望めるのではないかと改めて感じている。外に発信していくための重要な要素がこの吉井にはあると考えている。これまで以上に地域と力を合わせて、これからの吉井、佐世保をより良くしていきたい。



令和5年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:吉井地区のまちづくり

(2)福井洞窟の特別史跡国宝指定について

教育長

- 遺跡は一定のレベルになると、「史跡」となり、国宝と同じレベルのものが「特別史跡」となる。特別史跡は全国でも62か所と少なく、登呂遺跡や吉野ヶ里遺跡がその一つである。福井洞窟は史跡の価値としては非常に高く、今年度中に保存活用計画が出来たら、文化庁に申請することになる。
- 現在約20の課で構成された活用計画策定委員会を作り、洞窟遺跡日本一のまち観光資源化アクションプランの作成、特別史跡指定前後の広報戦略・広報展開の検討、社会科見学や修学旅行の誘致に活用できるようなモデルの作成、周遊観光ツアーや観光マイスターの人材育成、景観整備や福井洞窟へのアクセス、モビリティの活用など検討を進めている。実現に向けて官民・地域で力を合わせて、吉井地区の素晴らしい資源を存分に活用できるよう計画をしている。
- 福井洞窟のトイレについては、ハード面では整備ができているが、維持管理の面で至っていない面があるのかと思う。湿度が高いということなので委託先に話をしてみる。



2023.10.11 吉井地区

令和5年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:吉井地区のまちづくり

(3)イチゴ、メロン等 特産品のブランド化推進

地域参加者

- イチゴとメロンの栽培は昭和の終わりから平成のはじめ頃をピークに生産者、面積が減少している。これまでも生産者・生産面積減少について対策を行ってきたかと思うが、現状はあまり変わらない。今後市としてどう推し進めていくのかお聞かせいただきたい。
- 遊休農地が増加している。農地を貸しているケースも多いが、借りている側もいつまで借りられるのかという不安を抱えているのではと思う。農地を手放したいが手段がないという人もいる。
- 農地の売買にかかる審査を緩和して、郊外に土地を求める人に売却できれば人口流出も防げて地域の若返りが図れるのでは。こういった若い世代と地域の現状をマッチングできるような制度があれば良いと考えている。



2023.10.11 吉井地区



令和5年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:吉井地区のまちづくり

(3)イチゴ、メロン等 特産品のブランド化推進

市長

- 吉井地区の美味しいものを活かしたい思いから、吉井アジェンダの中の「イチゴ、メロンのブランド化の推進」の項目に繋がった。今後イチゴ・メロンを大きな柱とすることで、新たな担い手が出てくることも期待している。
- 農業は国の重要な産業であり食糧を守ることは国の根幹である。農業の立て直しについては真剣に考えていく必要があるし、今後国と県、市が国の食糧を守るという意識をどう作っていくか、正念場であると感じている。特に担い手の皆さんには、これからも一緒に頑張っていたかくことをお願いしたい。
- 土地の利活用についても市民のニーズにあわせて柔軟に変えていくべきではないかと思う。課題も多く、時間はかかると思うが、地域の皆さんと一緒にこうした問題についても考えていきたい。

農林水産部長

- 市は自動灌水装置などを導入したスマート農業を推進しており、吉井地区でも導入している。最近は人手不足の解決策として、各地でイチゴ収穫のワーケーションが行われている例もある。生産者さんの協力も得ながら、地域の観光に役立てるような取り組みも必要ではないかと思っている。
- 規格外の農産物を利用した加工品などがあれば、観光の呼び水にもなるのではないかと考える。
- 地域の皆さんでアイデアを出し合って、市も生産者さんと繋げるなど協力できることがあれば舵取り役を担っていきたいと考えている。
- 佐世保市はコンパクトシティの考え方から宅地化を抑制しているところもある。農業振興地域や農用地など規制の確認が必要だが、農地法に則っているため、転用は難しいということでご理解いただきたい。



令和5年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:吉井地区のまちづくり
(4)その他

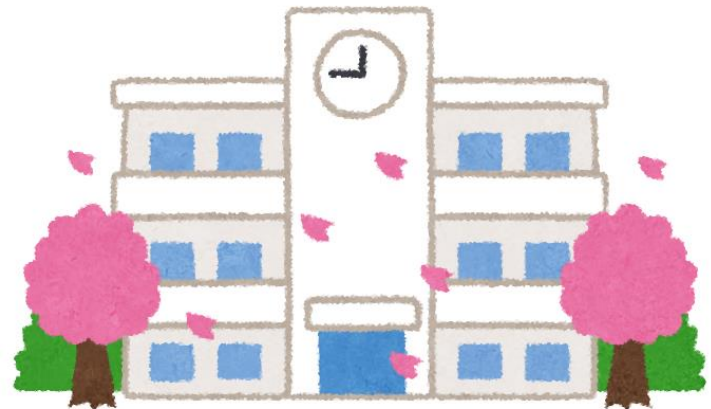
地域参加者

【学校再編、跡地活用について】

- 学校再編による吉井北小学校廃校に向けての丁寧な手順の説明をお願いしたい。手順を大切にすることは、北小の歴史と地域へのリスペクト、次世代のまちづくりに不可欠な住民同士・行政との信頼関係の醸成に繋がると思う。
- 吉井南小と北小が合併した場合の、北小の跡地問題についてお聞きしたい。例えば、よしい荘は廃止されて2年以上経つ。地元には借りて活用したいとの声もあるが回答はない。壊さないのであれば有効活用を考える必要があると思う。
- 学校再編は、跡地活用計画も平行して進めて欲しい。特産品を活かしたお菓子やお土産づくりをするなら、会議室や研修場所が必要。学校の設備を有効活用できないか。拠点があれば、お土産販売なども動いていくのでは。

【地区自治協議会事務局体制の強化について】

- この地域は若い世代が少なく、担い手づくりが課題である。地区自治協議会ができたことによる負担軽減も思うようにいっていないと感じる。地域のことは自治協に集約するといった意味でも、予算の自由度を上げていただきたい。事務局体制の強化についても考えていただきたい。



令和5年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:吉井地区のまちづくり (4)その他

市長

- 私の地元の九十九地区で、現在2つの小学校と1つの中学校が廃校となり老朽化も課題となっている状況を見て、やはり学校跡地については早期に利活用を考える必要があると改めて感じている。
- 学校跡地は市の財産である一方で、地域の方にとってどうなるかということも念頭に置きながら再編合流と平行して取り組む必要があると考えている。

教育長

- 小学校の合併に関しては、1年に50回以上説明に伺い、役員さんや地域全体、ワーキンググループへの説明など行ってきたが、どうしても集まる人数が少ないことがあり浸透できていなかったのかと思う。ご指摘はしっかりと生かしていきたい。
- 学校跡地についてはこれから考えることになるが、学校の土地・施設は市有財産であり、必ずしも地域のために使用できるということにならないことはご理解いただきたい。とはいえ、地域で具体的な活用方法やアイデアはお聞かせ願いたい。どういう形になるにしても、必ず地域とキャッチボールをしながら進めていくことを約束させていただきたい。

